

坂本加代

と二句集



川柳の魅力

川柳を始めてあっという間に6年目

家にじっとしては味わえなかった濃い時間

ざわざわとする不安をかかえ小石でも積まないと抑えられない日

膨らんだ風船が今にも破裂しそうな日

一瞬で地に落ちる日もある

人とのかわりの中で人生が彩られてゆく

ウキウキ楽しい句会 新しい出会い

ネットでは全国の柳友とつながった気分

勇気を出して全国大会に参加
入選に喜び全没に哀しむ

健康な日 泉のように湧くことば
空っぽになるまで脳汗を絞る

希望ある限り前へ進む

夢は大きく羽ばたいて叶えられるその日まで

歳なんて小脇にかかえまっしぐら

加代

坂本 加代（さかもと かよ）

〒747-1232

山口県防府市台道2200

略歴

1948年

岡山県笠岡市に生まれる

2011年4月

朝日新聞山口柳壇へ投稿開始

2012年1月

山口県湯田川柳会入会

2013年1月

川柳マガジン投稿開始

2014年1月

川柳塔誌友

2016年4月

川柳塔同人

2017年1月

おごおり川柳会入会

温
も
り

目覚めれば猫が正座で待っている

足元に付いて離れぬ猫を抱く

大小の惑星家に居そうろう

手間暇を掛けた子どもを世に送る

アンテナが向き合っていて響き合う

子どもらに隠すなみだの母を見た

母の愛深いこころの底に満ち

モノクロにずっと残る母の犠打

うずくまる人に差し出す手と心

ありがとう言えず黙って手を合わす

嬉しさに口から花が飛んでゆく

ふつふつと湧き出る学ぶエネルギー

満月に本が読めるか確かめる

お月さま一緒に歩こう日の出まで

幸せがやって来そうな星月夜

笑顔からやさしい風が吹いてくる

幸せが怒りの種を包み込む

満ち足りて心と体まん丸い

よく笑う君につられてまた笑う

自然におまかせ二人の交叉点

渴
く

待たされる刻はキラキラ旬の色

アベレージ石ころ積んで上げてゆく

近づけば遠のく君は蜃気楼

開けられぬ愛の小箱を抱きしめる

こだわりを忘れている日よく笑う

ハードルは自分が描いた白い線

崖っ
ぷちひよいと跳んだら蝶になる

セピア色母と私と友がいる

ハングリー重ね重ねて濃い時間

天の雨
渇く私に
降り注ぐ

地球

借金で座礁しないか日本丸

賛成は黙し見ている再稼働

敵近し護り手薄な日本海

自己主張傘下に入れば弱くなる

賛成のデモも湧き出す安保法

人のエゴ地球は荒れて苦しんで

年金が逆三角形に立っている

トラップで占う世界霧の中

鮮血がみなぎる想い立ち上がる

へオバマ大統領広島訪問へ

地鳴りとなつて来るヒロシマの御霊

いつくるか異常気象の的になる

（笠岡川柳公園句碑）

逃げながら振り向く鬼の悲しい目

完璧な絵にしようとは思わない

順番に忘れてゆこう明日がある

それぞれに不幸を持って笑い合う

神の手を盗んで磨く研修医

行く末にまだ幸ありと今生きる

辛い世に揉まれて光る石となる

もう少しそこにおれよという寿命

文学の無限の道に迷い込む

あとがき

森山文切さんのご厚意で、初めての句集を作ることになりました。

6年前、東日本大地震の映像を見た時のショックが川柳を始めるキッカケでした。

生きていることがどんなに苦しく楽しいか考えてゆくために川柳を選びました。

句を読み返すとその時の想いが蘇ります。
ありがとうございます。

平成29年11月

坂本加代

坂本加代ミニ句集

発行人 坂本加代

編集所 川柳塔社 WEB サイト

<http://senryutou.net>